



かたしな



9月16日に開催された片品南保育所の運動会

主 な 内 容

- ◆平成28年度一般会計・特別会計決算認定 2～3
- ◆平成29年度一般会計・特別会計補正予算 4
- ◆第4回臨時会、第5回臨時会、常任委員会 5～7
- ◆議案内容及び議決一覧 8
- ◆ようこそ有権者、議員OBの声、議会活動 9～10

9月7日～15日

第6回定例会



(千円単位を四捨五入しています)

平成28年度一般会計決算

歳入決算額	50億1,505万円
歳出決算額	47億2,462万円
繰越明許費繰越額	8,087万円
実質収支額	2億956万円

内 訳

基金へ繰入	1億1,000万円
平成29年度予算へ繰越	9,956万円

年度末村債（借入金）現在高	42億8,768万円 (前年度比4億4,302万円増)
年度末基金（預金）残高	13億2,473万円 (前年度比4,945万円減)

平成29年第6回片品村議会定例会が、9月7日～15日までの9日間にわたり開催されました。

「平成28年度一般会計及び6特別会計の決算認定」「平成29年度一般会計及び5特別会計の補正予算」「条例の一部改正」「片品村振興公社の経営状況の報告」「工事請負契約の締結」等が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

平成28年度特別会計決算

会計名	歳入決算額 (内、一般会計から繰入)	歳出決算額	実質収支額	実質収支額の内訳	
				基金繰入金	H29年度予算へ繰越
国民健康保険	8億7,703万円 (4,254万円)	8億3,845万円	3,858万円	2,000万円	1,858万円
簡易水道事業	9,126万円 (1,324万円)	8,075万円	1,051万円	0	1,051万円
介護保険	5億281万円 (7,123万円)	4億8,590万円	1,691万円	1,250万円	441万円
下水道事業等	8,269万円 (6,003万円)	7,815万円	454万円	0	454万円
後期高齢者医療	5,705万円 (2,105万円)	5,617万円	87万円	0	87万円
合計	16億1,084万円 (2億809万円)	15億3,942万円	7,141万円	3,250万円	3,891万円

観光施設事業	収入 (内、一般会計からの補助金)	支出	利益
収益的収入・支出	1億540万円 (8,960万円)	9,384万円	1,156万円
資本的収入・支出	0円 (0円)	4,331万円	△4,331万円

* 収益的収入・支出については税抜きの金額です。

* 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4,331万円は過年度分損益勘定留保資金で補填しました。
なお、他会計借入金残高は1億9,500万円です。

借入金・預金の現在高

会計名	年度末村債他（借入金）現在高	年度末基金（預金）現在高
国民健康保険	0	1億3,673万円
簡易水道事業	1億6,203万円	3,220万円
介護保険	0	3,568万円
下水道事業等	3億5,887万円	0
合計	5億2,090万円	2億461万円

会計名	年度末借入金現在高	留保資金
観光施設事業	3億5,819万円	1億2,762万円

ワンポイント解説

留保資金

現金の支出を必要としない経費で、具体的には減価償却費などが留保された資金です。

監査委員の審査意見

- ▶平成28年度の村債は6億9,750万円です。主に片品中学校改築、児童館建設、(仮称)交流連携拠点施設建設、村道越本・花咲線法面工事などの他、福祉医療費支給事業、旧北小・旧南小校舎等解体工事などのソフト事業に充当されている。
- ▶村税の収納率は63.7%で前年度より1.7ポイント増、収入未済額は3億4,496万円と前年度より344万円減額であるが、その収入未済額は固定資産税が多くを占めている。今後も早期の滞納整理など適切な処理が必要である。
- ▶地方交付税は19億8,592万円で、前年度より1,275万円減額となり、歳入総額の39.6%を占めている。
- ▶国民健康保険税の収納率は82.1%、1人あたりの保険者負担分は20万3,332円(年間)、前年度より6,275円増えている。被保険者の高齢化等による医療費の増大など非常に厳しい運営が予想される。
- ▶水道料の収納率は60.7%、前年度より2.6ポイント高くなっているが、堅実運営を図るためには未収金の解消に努力されたい。
- ▶下水道への加入率は58.3%で、前年度より0.2ポイント増となっているが、依然と低く適切な対応を望む。
- ▶職員個々の資質向上を図り、住民の期待にこたえる行政執行がなされるよう一層の努力を希望したい。

片品村振興公社(株)の経営状況の報告

公社の総売上 3億1,846万円
村としての益金 776万円
公社税引後当期利益額 7万円

事業概要

▶ 花の駅・片品「花咲の湯」

入館者込客数 127,488人
(村外利用者100,471人、78.8%)
売上代金 1億9,313万円
仕入代金 6,934万円
販売管理費及び公社手数料 1億1,126万円
益金 1,253万円

▶ 寄居山温泉「ほっこりの湯」

入館者数 35,434人
(村外18,464人、52.1%)
売上代金 1,653万円
仕入代金 232万円
販売管理費及び公社手数料 1,479万円
益金 △57万円(公社益金対応)

▶ 尾瀬ツーリスト

年間受入数 4,244人(延べ11,531人)
売上代金 6,030万円
仕入代金 5,202万円
販売管理費及び公社手数料 1,572万円
益金 △744万円(村委託金対応)

▶ かたしなや

売上代金 3,922万円
仕入代金 2,419万円
販売管理費及び公社手数料 1,922万円
益金 △419万円(公社益金対応)

財政の健全化判断比率の報告

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
H28年度	—(赤字0)	—(赤字0)	1.5	—
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0

*片品村のそれぞれの比率については早期健全化基準に該当せず、大変良好な比率となっています。

片品村の公営企業の資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	備考
観光施設事業特別会計	—	資金不足なし
簡易水道事業特別会計	—	資金不足なし
下水道事業等特別会計	—	資金不足なし

ワンポイント解説

実質公債費比率 村の税金等、毎年決まっているお金に対して、借金返済額がどの程度の割合になるかを示す指標です。
*数値は小さいほどより健全です。

資金不足比率 資金不足による経営状況の悪化の度合いを示す指標です。
*資金不足が無い場合は「—」表示、20%以上は経営健全化計画を定めなければなりません。

平成29年度9月補正

(単位：千円)

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計	4,320,480	271,634	4,592,114
国民健康保険	884,236	21,938	906,174
簡易水道	88,200	9,511	97,711
介護保険	517,008	6,061	523,069
下水道事業費	92,439	5,038	97,477
後期高齢者医療	58,500	1,673	60,173

主な一般会計補正

(単位：千円)

歳入		歳出	
国庫支出金	△198,445	総務費	36,603
県支出金	179,440	民生費	30,301
繰越金	69,555	農林水産業費	45,312
村債	186,600	商工費	107,741
		教育費	44,056

条例の一部改正

片品村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児休業法の改正に伴い、条例の一部を改正



片品村過疎地域自立促進計画の変更

第6期片品村介護保険事業計画に基づく特別養護老人ホーム増設事業への補助金支出をするため、片品村過疎地域自立促進計画に事業追加しました。

第6回定例会
工事請負契約の締結

- 契約の目的 村道鎌田・立沢線 大立沢橋
橋梁長寿命化修繕工事
- 契約の方法 指名競争入札による契約
- 契約金額 6,458万4千円
- 契約の相手方 角田建設工業株式会社
- 工期 契約の日から平成30年3月30日まで

第6回定例会 陳情審査結果

陳情内容 陳情者：全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳

地域による森林吸収源対策の推進や雇用の場の確保などの取組は、地球温暖化のみならず、国土の保全や地方創生等につながるもので、「全国森林環境税」の導入の実現を求めるため、政府・国会 関係機関に意見書の提出をお願いする。

審査結果

本村の面積の92%が森林で覆われ、首都圏へきれいで豊富な水を供給できるのも森林が大きな役割を果たしている。森林の公益的機能を継続的に確保するため、村の森林・林業・山村対策の強化を図ることを目的とし、新たな税財源である「森林環境税」を創設する意見書の提出を採択した。

第4回臨時会

7月13日、第4回臨時会を開催

工事請負契約（1件）の締結について、原案のとおり全員賛成で可決しました。

▼工事請負契約



- 契約の目的 (仮称) 片品村交流連携拠点施設新築工事 (第2期)
- 契約の方法 指名競争入札による契約
- 契約金額 3億5,640万円
- 契約の相手方 角屋・芝崎特定建設工事共同企業体
- 工期 契約の日から平成30年3月31日まで

第5回臨時会

8月4日、第5回臨時会を開催

工事請負契約（1件）の締結について、原案のとおり全員賛成で可決しました。

▼工事請負契約



- 契約の目的 (仮称) 片品村交流連携拠点施設外構工事
- 契約の方法 指名競争入札による契約
- 契約金額 1億1,880万円
- 契約の相手方 角田建設工業株式会社
- 工期 契約の日から平成30年3月31日まで

～日光市議会交流会連携事業～

平成29年8月18日(金)、日光市議会・片品村議会の交流会が日光市議会の正副議長、各常任委員会正副委員長と片品村議会とで日光市役所にて行いました。内容は、金精道路の通年通行と観光振興について意見交換を行いました。両市村ともに、金精道路の通年通行の必要性について共通した認識であり、今後も協力体制を強化し交流を継続して両市村の発展につなげていくことで一致しました。結果として、議会交流だけでなく、関係する地域住民との交流も必要不可欠であるため、今後働きかけをしていくことになりました。



交流会に参加した
日光市と片品村の議会議員

討 議 し ま し た

総務文教常任委員会

協議事項

一、鎌田地区の
スクールバスの
運行について

問 鎌田地区のスクールバスの運行要望について教育委員会へ話があったか。

答(教育長) 地区要望で承知しています。

問 丸沼ペンション地域へのスクールバスの運行状況を伺いたい。

答(教育長)

今年度は、6月から11月までスクールバスの運行を行い、保護者への説明もしています。冬場も何とかならないかというお話はいただいていますので、来年度に向け検討していきたいと思っております。

二、所管事務について

問 片品村収穫祭の駐車場として、小学校の校庭を使うことを教育委員会は掌握しているか。

答(教育委員会事務局長)

むらづくり観光課から片品小学校の校庭を駐車場として使



整備された片小グラウンド

いたいという申し出がありました。整備したばかりで、荒れることを心配しています。むらづくり観光課から、もし荒れた場合には補修をしてもらうという予定になっています。

問 (仮称) 交流連携拠点施設が営業を開始し、駐車場が不足した場合、小学校の校庭を一時的に使用することを検討しているか。

答(村長) 現在の中央公民館も取り壊し駐車場になります。駐車場そのものが広がるわけですから、通常では必要ないと考えておりますが、小学校の校庭を使わなければならないぐらい多くの人で賑わっていたことを願っています。

三、行政視察について

(常任委員長)

出会いから結婚・出産・子育てからマイホームまで切れ目のない支援や地域の活性化、人口減少問題対策など実践的な取り組みを広島県神石高原町で研修したいと考えています。
(委員長 高山悦夫)



スクールバスを利用する生徒たち



委員が慎重に

観光産業常任委員会

協議事項

一、平成28年度決算
について

問 水道料の収納率向上対策を講じているか。

答（農林建設課長）

職員が収納率向上に努め、現年度使用料収納率は94.2%で前年比、約1.7%増加しています。

二、所管事務について

問 細工屋橋の整備の方針及び進行状況はどうか。



細工屋橋

答（農林建設課長）

次期、橋梁の長寿命化5か年計画が平成30年度から始まりますので、概ね5か年の計画を進めていきたいと考えています。しかし、社会資本交付金は、充当率が低いため、充当率いかによっては若干延びる可能性もあると思います。

問 片品において、鹿の捕獲制限、駆除頭数、個体調整の数など目標を掲げているか。

答（農林建設課長）

片品としての個体調整とか目標の数値は設定していません。



シカの食害

問 尾瀬ツアーリスト、観光協会、むらづくり観光課など観光部分の統合等検討しているか。

答（むらづくり観光課長）

それぞれの組織が特徴的に観光事業を取り組んでいます。むらづくり観光課は、行政として村全体の方向性をリードしています。

観光協会は、協会員で組織する自主自立団体で、独自の活動や村の観光活動を推進する団体です。観光に特化して公共性があるような場合は、村から補助金を出して事業を実施し、観光協会で独自に立案し会員のために事業を行うというような団体になっています。

振興公社の尾瀬ツアーリストについては、村の委託を受けて実施する団体になっています。冒頭にも申し上げましたが、それぞれの組織が特徴的に観光事業に取り組んでおり、役割分担も出ておりますので、今後も現在の状態で事業に取り組みたいと考えております。

問 オグナほたかスキー場の降雪用水量調査の状況はどうか。

答（むらづくり観光課長）

調査は、年に2回行い、調査の結果を精査し、来年度以降の計画に盛り込んでいきたいと思っています。

問 尾瀬ほたかスポーツパークのグラウンド等整備は現状で完成か。

答（むらづくり観光課長）

現状で完成です。大東文化大学のコーチに来ていただきましたが、陸上競技のクロスカントリー競走の練習には十分対応できるとのことです。

（委員長 千明 勉）



整備された尾瀬ほたかスポーツパークのグラウンドほか

Welcome
ようこそ **有権者**

有権者として

尾瀬高等学校3年 星野 まさと 壮登 さん

今年の七月に十八度目の誕生日を迎えてなし崩し的に有権者になったわけだが、正直実感がわからない。何故なら、私が今握っているらしい権利の重さに、中々ぴんとこないからである。

私が持っているという権利は、国の基盤を変え私の日常生活をかえてしまう力の一部を有しているらしい。その事は、何となくだが私にも予想できる。否、予想しかできない。これは一重に日常でその権利を感じる機会が、あまりないからだ。少なくとも、私はそう感じる。

例外を挙げるとすれば、それは消費税だ。しかし、それ以外で思い当たるものはない。私のような認識をもった友人は少なくない。ある友人は、消費税さえ上がらなければどうでもよい、と言っていた。まさに、参政への年齢は二十歳が妥当だと私は思う。これは、親元を離れ大抵のことを自らで行わなければならなくなり、社会の仕組みと参政権の重さを実際に経験することで理解できる年齢だからだ。

しかし、どう足掻いたところで参政への年齢は引き下げられてしまった。ならば、経験の足りぬ私達はその分入念に備え来るべき選挙へ臨まなければならないと思う。



先輩議員からのひと言

在任期間：平成11年4月～平成19年4月

角田 政弘 さん

「新村長に期待すること」

(須賀川)

この議会だよりが発行される頃には、新しい村長さんが決まっている頃でしょうか？千明村長さん3期12年にわたり大変お疲れ様でした。

さて、片品村においては千明村長の元、片品小学校、児童館が竣工し、中学校、交流施設の建設も着工され、ハード面での整備は確実に進んでおります。今後は、新村長さんの元、役場の職員さんと議員の皆様が、村民と共に知恵を絞り、いかに有用に活用するかというソフト面での充実が必要になると思います。冬期間は通行するのが困難だった椎坂峠にはトンネルが開通し、沼田市や前橋市に行くのも楽になりました。観光資源や尾瀬ブランドの農産物等々多くの魅力を秘めている片品村に住んで、市部に通勤するというスタイルも可能かなと思いますが、そのための制度や環境作りを行政のプロである役場職員の皆様とチェック機関でもある議員の方々をお願いしたいと思います。

私が議員にお世話になった頃と比べると議員数も少なく、予算的にも厳しい現状だと思っておりますが、金精峠の年間開通など多くの問題に取り組んでいる議員皆様の益々の活躍をご期待申し上げます。

議会活動日誌

- 7月** 13日 議会運営委員会 第4回議会臨時会
24日 議員会
- 8月** 1日 区対抗野球開会式
4日 議会運営委員会、第5回議会臨時会
" 給食センター、観光施設、上下水道、
国保、介護の各委員会
18日 日光市議会・片品村議会交流連携
事業意見交換会
23日 議員会
25日 議会運営委員会、議会全員協議会
28日 片品中学校起工式
30日 尾瀬国立公園 10周年記念式典
- 9月** 7日 第6回議会定例会（9月議会）開会、
決算説明

- 8日 補正予算説明会
9日 片品中学校体育祭
12日 総務文教・観光産業常任委員会
15日 議会運営委員会
" 第6回議会定例会（9月議会）閉会
" 第1回議会広報編集特別委員会
16日 南保育所運動会
20日~21日 観光産業常任委員会行政視察
21日 北保育所運動会
26日~27日 檜枝岐村議会との交流会
28日 片品保育所運動会
30日 片品小学校運動会
- 10月** 2日 片品村敬老会
7日 第59回村民運動会
10日 議会運営委員会、第7回議会臨時会
14日 消防団秋季点検

発行 片品村議会

責任者 千明 道太

編集 議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)

かたしなフォトギャラリー



檜枝岐村議会との交流会



新片品中学校起工式

○傍聴のお知らせ

12月議会を傍聴しませんか！ 次回定例会は、12月5日（火）の予定です。
一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答（全文）は片品村公式ホームページ（HP）にて閲覧できます。HP掲載写真はフルカラーです。
URL <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

編集後記

晩秋の風が通り抜け、日々収穫に忙しい光景を目にする今日、議会では9月定例会が開催され平成28年度一般会計及び特別会計決算の認定、さらに平成29年度一般会計、特別会計の補正、また条例の一部改正等を審議し終了しました。今議会は平成28年度決算の認定において次のとおり審査の結果をまとめました。
厳しい財政状況の中、片品村においては財政健全化判断比率等については良好な比率となっているため健全な財政であるといえる。
一方、村づくりの基礎となる村税などの未収金の処理は所管課により適切かつ積極的に行い、自主財源の確保にさらに努力されたい。
税負担の公平性に対する重要性を認識し、行政及び村民一体となって取り組む必要性を感じていただきたい。
依然として景気回復の兆しが見えてこない現状でありますが、間近に迫るスキーズンが千客万来であるようお願いいたします。

編集委員長 入澤 登喜夫